

エコアクション21 環境経営レポート

2023年度

期間: 2023年8月1日～2024年7月31日



※弊社製品を利用したグラウンドです。



株式会社 張本創研

作成日
2024年10月31日

目次

ページ

1. 組織の概要		3
2. 許可の内容		4
3. 環境経営方針		8
4. 環境経営目標		9
5. 環境経営計画		10
6. 実施組織図		11
7. 環境経営目標の実績とその評価		12
8. 環境経営計画の取組結果とその評価、 次年度の取組内容		13
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無		15
10. 代表者による全体の評価と見直し・指示		16
11. 地域社会貢献活動		17

1. 組織の概要

社名 株式会社 張本創研

代表者 代表取締役 張本 洋二

【本社】 所在地 〒854-1123 長崎県諫早市飯盛町里1878-2
TEL 0957-49-1575
FAX 0957-49-1346
E-MAIL info@harimoto-s.jp
URL http://harimoto-s.jp

【事業本部】 所在地 〒854-1123長崎県諫早市飯盛町里2047-1

環境管理責任者及び担当者の連絡先

責任者 企画営業部長 大久保 一誠 090-2512-9611

事業内容

- ①採石業(砂利・砂の製造販売:長崎県、採石第440号)
- ②建設発生土再資源化事業
- ③産業廃棄物処分業(長崎県:04220031246)
- ④産業廃棄物収集運搬業(長崎県:04210031246)
- ⑤一般貨物自動車運送業(九運貨物第1199号)
- ⑥太陽光発電事業

事業規模

- ①資本金 1,000万円
- ②設立 1962年4月
- ③従業員数 21名(2023年8月時点)

事業年度(8月～翌年7月)

活動規模	単位	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
売上高	百万円	651	503	435	445	537	532
従業員	人	19	19	20	23	23	21
敷地面積	m ²	222,000	222,000	222,000	222,000	222,000	222,000
床面積	m ²	460	460	460	460	460	460

認証・登録の対象範囲

適用事業所(サイト)名 : 株式会社張本創研 本社、事業本部

適用事業活動 : 全組織、全活動を認証・登録の範囲としています。

2. 許可の内容

○産業廃棄物処分量 長崎県04220031246

許可の年月日 令和4年6月26日 優良産廃処理業者に認定

許可の有効年月日 令和11年6月25日

1. 事業の範囲

事業の区分 中間処理

産業廃棄物の種類

処分の方法	産業廃棄物の種類
(1) 破碎	①木くず、②ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、③がれき類 以上3種類
(2) 分別	金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類 以上3種類
(3) 破碎・分級	汚泥(浄水場から排出される無機性の脱水汚泥、生コン工場等から排出される不要生コンの固化汚泥、石材加工場から排出される乾燥汚泥、建設汚泥の脱水汚泥に限る。)、鉬さい(溶離スラグ、鉄鋼スラグ、鉬物廃砂及び火力発電所において製造されたアッシュボール等に限る。) 以上2種類
(4) 薬剤固化	①汚泥(建設汚泥、浄水場から排出される無機性の汚泥、廃サンドブラストに限る。)、②鉬さい(廃砂) 以上2種類 (石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を除く。) (これらのうち特別管理産業廃棄物であるものを除く。)

2. 事業の用に供するすべての施設

(1) 破碎施設(ラサ工業(株)製 シングルトツグルクラッシャ 3624(A)型)

設置場所	長崎県諫早市飯盛町里2029番地
設置年月日	平成7年6月26日
処理能力	960t/日(8時間)
使用届出受付年月日	平成13年4月24日

(2) 分別施設(日本ニューマチック工業(株)製 E216B)

設置場所	長崎県諫早市飯盛町里2029番地
設置年月日	平成7年6月26日
処理能力	160t/日(8時間)

(3) 破碎・分級施設(ラサ工業(株)製シングルトツグルクラッシャ3624(A)型+傾斜振動ふるい機RIH)

設置場所	長崎県諫早市飯盛町里2029番地
設置年月日	平成16年2月16日
処理能力	960t/日(8時間)
その他	破碎施設については(1)の破碎施設と兼用する。

(4) 汚泥等(①、②)の薬剤固化施設(有)薬師鐵工所製 2軸型パドル混合機 YP-24)

設置場所	長崎県諫早市飯盛町里1977番地
設置年月日	平成24年11月9日
処理能力	①:422t/日(8時間)、②:384t/日(8時間)

(5) 汚泥等の薬剤固化施設(太平洋機工(株)製 ターボミキサ TM-500)

設置場所	長崎県諫早市飯盛町里1993番4、2000番2、2002番
設置年月日	平成30年12月17日
処理能力	①:384t/日(8時間)、②:349t/日(8時間)

(6)がれき類等(②、③)の破碎施設([アタッチメント]日本ニューマチック工業(株)製 G-20JEL
[ベースマシン]キャタピラージャパン(株)製 320GC)

設置場所	長崎県諫早市飯盛町里1977番地
設置年月日	令和3年9月22日(令和5年8月24日ベースマシン入替)
処理能力	101.7t/日(8時間)
許可年月	令和3年9月8日
許可番号	420017269

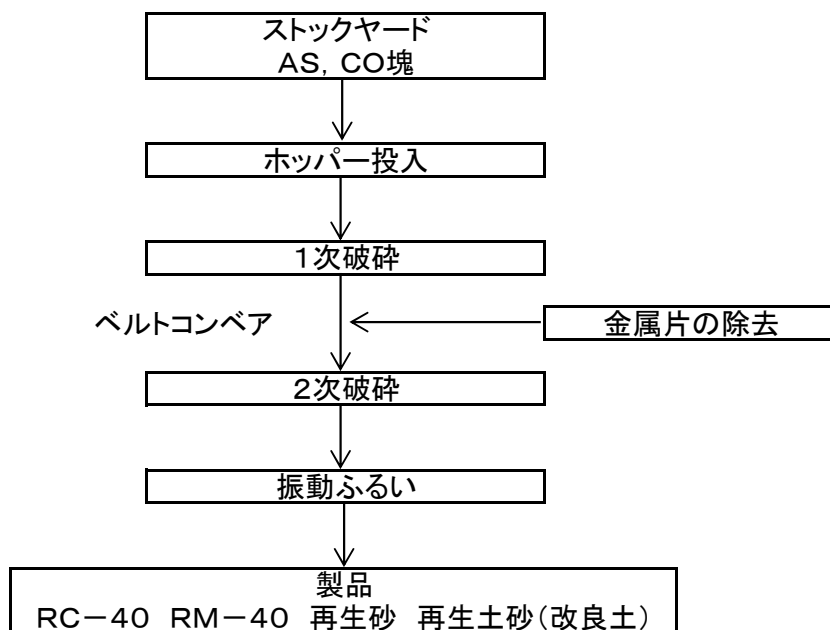
(7)木くずの破碎施設(株)大橋製 クリーンシャーク GS282D-F)

設置場所	長崎県諫早市飯盛町里2018番1
設置年月日	平成30年12月27日
処理能力	4.5t/日(8時間)

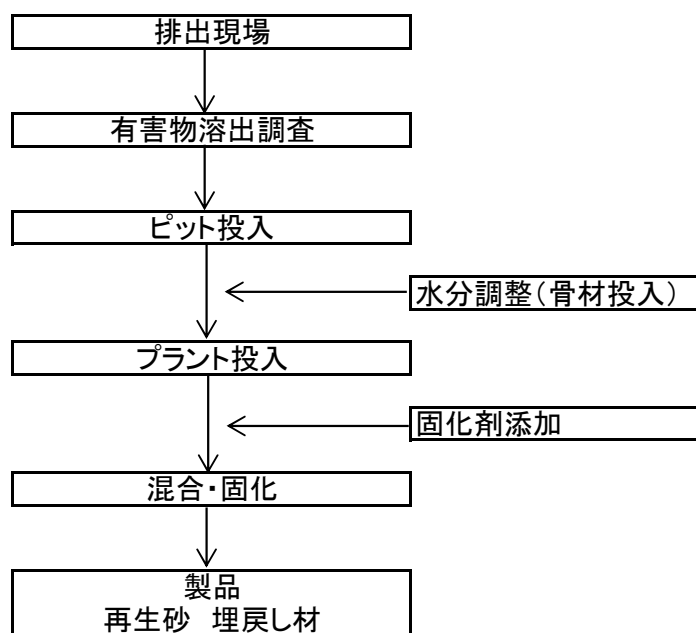
主要設備(処分)

形式	台数
ホイールローダー	5
20t原石車	1
バックホー	6
散水車	1

産業廃棄物中間処理工程(フロー図)



建設汚泥処理工程(フロー図)



3. 廃棄物処理料金

廃棄物の種類・量により異なりますので、都度御見積りさせていただきます。

4. 処理実績

	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年
数量(t)	45,789	40,175	43,448	34,131
リサイクル率	100%	100%	100%	100%

○産業廃棄物収集運搬業 長崎県04210031246

住所 長崎県諫早市飯盛町里1878-2

許可の年月日 令和4年6月26日 優良産廃収集運搬業者に認定

許可の有効年月日 令和11年6月25日

1. 事業の範囲

汚泥、廃油、廃酸(食品製造業から排出されるシロップに限る。)、
 廃アルカリ(食品製造業から排出されるシロップに限る。)、廃プラスチック類、紙くず、
 木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
 、鉱さい、がれき類、動物のふん尿
 (石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品廃棄物及び水銀含有ばいじん等を除く。)
 (これらのうち特別産業廃棄物であるものを除く。)
 以上14種類(下記2のとおり積替え・保管行為を含む)

2. 積替え保管を行う場所

保管場所①

所在地	長崎県諫早市飯盛町平古場1528番地2			
産業廃棄物の種類	面積	保管上限	積上上限高	その他
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	90m ²	69m ³	2.25m	屋外保管
がれき類	285m ²	375m ³	3.75m	屋外保管

保管場所②

所在地	長崎県諫早市下大渡野町77番4			
産業廃棄物の種類	面積	保管上限	積上上限高	その他
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	42m ²	21m ³	1.5m	屋外保管
がれき類	90.25m ²	71m ³	2.37m	屋外保管

型式	台数
10tダンプ	9
5tダンプ	1
4tダンプ	2
3tダンプ	1
7tユニック	1

2. 廃棄物運搬料金

廃棄物の種類・量により異なりますので、都度御見積りさせていただきます。

3. 収集運搬実績

	2020年	2021年	2022年	2023年
数量(t)	6,612	5,963	6,842	6,105

株式会社 張本創研 環境経営方針

株式会社 張本創研は、砕石製造販売業・産業廃棄物の収集運搬業・処分業・一般貨物自動車運送業を行ってまいりました。環境に携わる事業者として、環境負荷を削減していくことが循環型社会の構築につながると考え、以下の方針に自主的・積極的に取組み、継続的改善を図りながら環境負荷の削減に努めていきます。

(1) 二酸化炭素排出量の削減

- ・車両の燃費消費量の抑制に伴う、排気ガスの削減
- ・事業活動に伴う電力等の使用量削減

(2) 廃棄物の削減

- ・受託した産業廃棄物の再資源化によるリサイクル率の向上
- ・事業活動によって生じる廃棄物の削減及びリサイクルの推進

(3) 事務用品のグリーン購入

(4) 製品及びサービスに関する環境配慮に取り組む

(5) コピー用紙の削減

(6) 節水に取り組む

(7) 跡地の緑化に努める

(8) 環境に配慮した新エネルギーの導入に取り組む

(9) 地域の環境保全活動に積極的に参加する

(10) 関連する環境の法規制を遵守します。

(11) この環境経営方針は当社全従業員に周知徹底するとともに、一般に開示します。

(12) この取組は全組織・全活動・全従業員を対象とし、全社的に取り組みます。

制定 平成25年12月1日

改定1 平成26年8月1日

改定2 2020年8月1日

株式会社 張本創研
代表取締役 張本洋二

5. 環境経営目標

当社における今後の環境目標は以下の通りです。2021年度の実績を基準値とし、
表の%及び値はそれぞれの削減目標率及び削減目標値を示しています。

(各年度の活動期間は8月～翌年7月とします)

環境目標	単位	基準値	目標		
		2021年度実績	2022年度	2023年度	2024年度
全社の二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	1,035,390	1,024,812	1,014,460	1,004,108
1) 電力の二酸化炭素排出量の削減	kWh	226,745	224,478	222,210	219,943
	kg-CO ₂	103,849	102,811	101,772	100,734
	%	97	99	98	97
2) 化石燃料の二酸化炭素排出量の削減	ℓ	355,557	352,002	348,446	344,891
	kg-CO ₂	931,314	922,001	912,688	903,375
	%	97	99	98	97
3) 一般廃棄物の排出量の削減	kg	128.4	127.1	125.9	124.6
	%	97	99	98	97
4) グリーン商品の購入の促進	品	3	3	3	3
	%	100	100	100	100
5) 製品及びサービスに関する環境配慮(再生製品の販売促進)	t	142,463.42	146,737	146,737	146,737
	%	103	103	103	103
6) 産業廃棄物の排出量の削減及び再資源化の促進	t	13.51	13.38	13.24	13.11
	%	97.0	99.0	98.0	97.0
7) 節水	m ³	90.695	89.8	88.9	88.0
	%	97.0	99.0	98.0	97.0
8) 跡地の緑化	m ²	100m ²	100m ²	100m ²	100m ²
9) 新エネルギーの使用(全て売電)天候に影響される為参考値	kWh	25,705	25,962	25,962	25,962
	%	101	101	101	101
10) 地域貢献活動の実施	回	4	4	4	4
	%	100	100	100	100

環境目標	単位	基準値	目標		
		2021年度実績	2022年度	2023年度	2024年度
売上高当たりの二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /百万円	2326.2	2302.9	2279.7	2256.4
	%	100	99	98	97

※購入電力の二酸化炭素排出係数は、新出光2020年度の調整後排出係数、0.458kg-CO₂/kWh
を使用して算出しています。

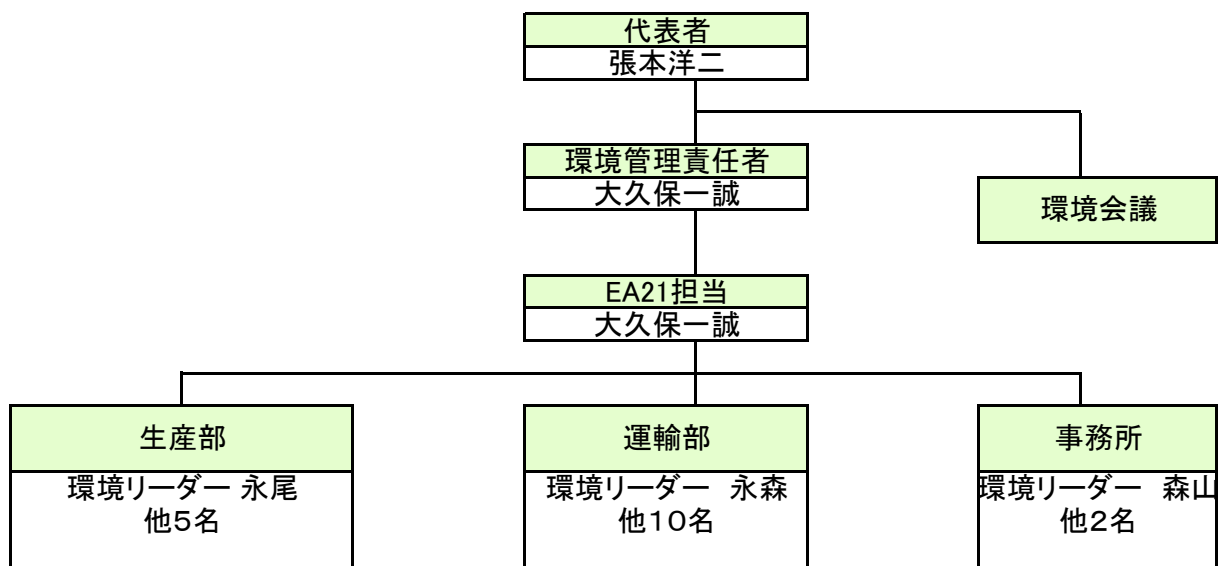
※当社は化学物質の使用はありません。

6. 環境経営計画(2022年度－2023年度)

環境目標	取組内容	責任者	担当部門	目標達成時期
1) 電力の二酸化炭素排出量の削減	①不使用時の消灯 ②機械設備・OA機器などのスイッチオフ ③エアコンの温度管理(夏季28℃±1℃) ④クラッシャーが空回りしない様積込をする ⑤プラントで一様に破碎できるようタネの大きさを調整する	大久保 森山 森山 永尾 永尾	全部署 全部署 事務所 生産部 生産部	2024年7月
2) 化石燃料の二酸化炭素排出量の削減	①不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認 ②暖機運転・アイドリングストップ ③急加速・急減速をしない ④エコサム(エコ運転管理)の活用による省エネ運転の徹底管理 ⑤重機の効率運転	永森	運輸	2024年7月
3) 一般廃棄物の排出量の削減	①無駄な資機材を購入しない ②廃棄物を分別し、リユース・リサイクルを徹底する	森山	事務所	2024年7月
4) グリーン商品の購入の促進	①グリーン商品の購入	森山	事務所	2024年7月
5) 製品及びサービスに関する環境配慮	①優良認定事業者として環境に配慮した積極的な事業活動に取り組む ②リサイクル品目の拡大及び販売促進を目指す ③採石跡地の緑化推進に努める	大久保	企画営業部	2024年7月
6) 産業廃棄物の排出量の削減及び再資源化の促進	①現場でのごみの混入を防ぐ	専務		2024年7月
7) 節水	①トイレの水使用量を減らす ②水を流しながらの洗い物はしない ③雨水利用の促進	森山	事務所	2024年7月
8) 跡地の緑化	①年間100m ² の緑化を目指す	永森	生産部	2024年7月
9) 新エネルギー(売電用)	①新エネルギーを使用し、環境配慮生産を増やす	専務		2024年7月
10) 地域貢献活動の実施	①道路清掃・草刈等積極的に行う	永森	運輸	2024年7月

6. エコアクション21実施組織図

当社は全組織、全活動を認証・登録の範囲としています。



各担当者の役割と権限及び責任

1. 代表者(代表取締役)

- ・環境経営方針を策定する
- ・環境経営目標及び環境経営計画を承認する
- ・環境管理責任者を任命する
- ・環境経営システムの構築、運用、環境目標及び行動計画に必要な経営資源《人(時間、技能、知識、もの(設備、インフラ)、資金(設備投資、教育投資)、情報(顧客ニーズ、技術情報)など》を用意
- ・年1回環境経営システム、方針、目標の見直しを行う。

2. 環境管理責任者

- ・環境経営システムに関する記録を管理、保存する。
- ・環境活動の取組結果を確認・評価し代表者に報告する。
- ・教育・訓練の実施の年間計画の策定、社内外における環境コミュニケーションのとりまとめ。
- ・環境上の緊急事態への対応策を定め、そのための準備や訓練の実施の管理、環境関連文書及び記録の作成・整理を行う。
- ・代表者に代わり環境経営システム全体の構築・運用に責任を持つと共に、必要な権限を持つ。

3. EA21担当者

- ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施。
- ・環境関連法規のチェックシートの作成とチェック。
- ・社内外における環境コミュニケーションの取りまとめと苦情等の窓口。
- ・環境経営システムに関する記録を管理・保存。

4. 環境会議

- ・定期的に開催し、環境経営目標及び環境経営計画の実施状況を審議する。

5. 環境リーダー

- ・各担当部門における環境活動を率先して行い、環境経営目標及び環境経営計画の実施と結果の報告。
- ・各担当部門での環境負荷の低減に努める。

6. 各担当職員

- ・担当環境作業を実施し結果をチェックし記録を取り、環境リーダーに報告する。
- ・各担当部門の環境活動を率先して行う。

8. 環境経営計画の取組の結果とその評価、次年度の取組

1) 電力の二酸化炭素排出量の削減

目標は達成できた。省エネ活動は定着しつつある。

次年度はもう一度なすべきことを再確認して取り組んでいきたい。

・次年度の取組

不使用時の消灯

機械設備・OA機器などのスイッチオフ

エアコンの温度管理(夏季28℃±1℃)

2) 化石燃料の二酸化炭素排出量の削減

新車の導入やエコサムの有効活用、重機の効率運転をはかり達成できた。

・次年度の取組

不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認

暖機運転・アイドリングストップ

環境に配慮した稼働

エコサムの活用によるエコ運転の徹底管理

重機の効率運転

3) 一般廃棄物の排出量の削減

目標を未達成となった。再度意識付けしゴミの排出量を抑える。

・次年度の取組

使用済みコピー用紙を再利用する

無駄な資機材を購入しない

廃棄物を分別し、リユース・リサイクルを徹底する

4) グリーン商品購入の促進

目標達成できた。次年度も取り組みます。

・次年度の取組

グリーン商品の情報を増やし、購入につなげる

5) 製品及びサービスに関する環境配慮

工事量減少により出荷量が減少したため、未達成となった。

・次年度の取組

優良認定事業者として環境に配慮した積極的な事業活動に取り組む

リサイクル品目の拡大及び販売促進を目指す

6) 産業廃棄物の排出量の削減及び再資源化の促進

こまめな指導を行っていたが、廃棄物に混入するごみの量を減らすことが出来ず、目標は未達成となった。

・次年度の取組

引き続き地道に指導を行っていく。

7) 節水

ドライバーの意識向上により節水できた

・次年度の取組

トイレの水使用量を減らす

水を流しながらの洗い物はしない

雨水利用の促進

8) 跡地の緑化

ほぼ達成できた。今後も採石跡地の緑化推進に努める

- ・次年度の取組

年間100m²の緑化を目指す

9) 新エネルギーの使用

天候等により目標が僅か未達成となったが、新たなエネルギーの検討も引き続き行う。

- ・次年度の取組

新エネルギーを使用し、環境配慮生産を増やす

10) 地域貢献活動の実施

実績では100%としているが、日常的に草刈りや掃除は行っているので引き続き実施していきたい。

- ・次年度の取組

道路清掃・草刈等積極的に行う

11) 売上高当たりの二酸化炭素排出量

目標に対し未達成となった。二酸化炭素排出量に対して売上高が減少したことによる。

- ・次年度の取組

引き続き取組みを実施していきたい。

7. 環境経営目標の実績とその評価

活動期間: 2023年8月～2024年7月

活動期間: 2023年07月～2024年7月					
項目	単位	2023年度目標	実績	達成率	評価
全社の二酸化炭素総排出量	kg-CO2	1,014,460	974,536	104%	○
1)電力の二酸化炭素排出量の削減	kWh	222,210	186,775	119%	◎
	kg-CO ₂	101,772	85,339		
101772					
2)化石燃料の二酸化炭素排出量の削減	ℓ	348,446	345,257	100.9%	○
	kg-CO ₂	912,688	889,197		
3)一般廃棄物の排出量の削減	kg	125.9	99.8	126.2%	◎
4)グリーン商品購入の促進	品	3	6	200.0%	◎
5)製品及びサービスに関する環境配慮・砂利砂の販売	t	146,737	140915	96%	△
6)産業廃棄物の排出量の削減及び再資源化の促進	t	13.24	10.85	122%	◎
節水	m ³	88.9	89.90	99%	△
8)跡地の緑化	m ²	100m ²	100m2以上	—	○
9)新エネルギーの売電(全て売電)天候に影響される為参考値	kWh	25,962	21,549	83%	×
10)地域貢献活動の実施	回	4	5	125%	◎
11)原単位による実績					
項目	単位	2023年度目標	実績	達成率	評価
売上高当たりの二酸化炭素排出量	kg-CO2/百万円	2279.7	1822.7	125%	◎

達成率 減少目標: 目標値／実績値 × 100 拡大目標: 実績値／目標値 × 100

評価 ×: 90%未満 △: 90%以上100%未満 ○: 100%以上110%未満 ◎: 110%以上

※購入電力の二酸化炭素排出係数は、令和4年度実績の調整後排出係数、新出光0.458kg-CO₂/kWh、九州電力0.462kg-CO₂/kWh、日本テック0.446kg-CO₂/kWhを使用して算出しています。

※当社は化学物質の使用はありません。

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

1. 当社の対象となる主な環境関連法規

法令の名称	遵守すべき内容	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法	産業廃棄物の処分業の県知事への許可	○
	帳簿の記載と保存	○
	マニフェストの発行・管理	○
	マニフェストの保管(5年間)	○
	マニフェスト交付状況の報告	○
	保管基準の遵守(表示・衛生管理等)	○
大気汚染防止法	設置届	○
水質汚濁防止法	設置届	○
騒音規制法	規制基準の遵守	○
道路交通法	免許証の携帯と有効期限	○
	過労運転の禁止・積載制限遵守	○
	交通事故時の措置違反・酒気帯び運転の禁止	○
道路運送車両法	自動車車検証	○
	車検証の携帯	○
労働安全衛生法	安全衛生委員会の開催	○
	作業環境パトロールの実施	○
	健康診断の実施	○
消防法	危険物掲示板を表示する	○
	消火設備を設置・管理する	○
	危険物保安監督者及び危険物取扱者を表示する	○
採石法	岩石採取計画認可	○
	業務管理計画	○
改正フロン排出抑制法	・業務用エアコンの簡易点検の実施及び記録の保存 ・フロン類の漏洩時は漏洩個所の特定・修理及び報告	○

2. 違反・訴訟等

法律などの遵守状況のチェックの結果上表に記載のように環境関連法規への違反はありません。尚、関係当局による違反の指摘も過去3年間受けておりません。

2024年7月31日

環境管理責任者 大久保一誠

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

環境への取組は、環境経営方針に従い適切に着実に実行している。

今回は、目標に対する結果は達成もあれば、未達成もあったが、各自が、前向きな改善に努めていることが伺えその結果がでているようです。

環境経営方針は現行の方針を継続して真摯に取り組んでいきます。

経営目標及び環境経営活動については、結果に基づいて目標値、計画内容の再検討を行い、目標未達成については基準に基づき是正措置を講じるよう指示をした。

統合的に見て、弊社のエコアクション21環境経営システムは効果的に運用され、継続されている。よって次年度も引き続き循環型社会の構築につなげ環境配慮への意識向上に取組を続けていきます。

2024年8月31日
代表取締役 張本 洋二

11. 地域社会貢献活動

①草刈・道路清掃作業



②地域行事への参加及び協賛



③小学生学習教育への参加



④地域ボランティア団体への参加



④大学生への企業取組教育

